

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【公表番号】特表 2001-521626 (P2001-521626A)

【公表日】平成 13 年 11 月 6 日 (2001.11.6)

【出願番号】特願 平 10-543587

【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 S 7/48

【 F I 】

G 0 1 S 7/48 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 4 日 (2005.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17.4.-4 年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第543587号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 イギリス国

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「23」
となりました。)

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り

請求の範囲

1. シーンからの放射を走査を装置し、受光システムに入力する出力放射を生成する装置であって、
放射を受け且つ反射する第1回転可能反射板であって、該板の中心をほぼ通過する回転軸線を有し、該回転軸線が前記反射板の垂線に対してゼロでない角度 θ_1 傾いている第1回転可能反射板と、
該反射板を回転させる回転手段と、
放射を受けて反射する第2反射手段と、
前記第1回転可能反射板から反射された放射を受け、放射を前記第2反射手段に向けて反射する静止反射手段とを備えた前記装置において、
前記第2反射手段が、前記第1回転可能反射板と共通の回転軸線を有する第2反射板を有し、該共通の回転軸線が、前記第2反射板の垂線に対してゼロでない角度 θ_2 傾いていることを特徴とする装置。
2. ミリメートル波映像カメラを更に備えている、請求項1に記載の装置。
3. レーダ受光器を更に備えている、請求項1に記載の装置。
4. 前記第1及び第2の反射板の垂線が、ほぼ同じ平面内で、共通回転軸線に対してほぼ等しい角度、且つ、ほぼ反対方向に傾いている、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の装置。
5. 前記第2反射手段が前記第1回転可能反射板である、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の装置。
6. 前記静止反射手段が、互いにほぼ 90° 傾斜した2つの反射面を有している、請求項5に記載の装置。
7. 出力放射を受光システムに反射するよう構成された偏光ミラーを備えている、請求項6に記載の装置。
8. 前記偏光ミラーが、平行な複数の導電性ワイヤを備えたプラスチック材料のシートであり、平行な導電性ワイヤが、前記屋根型反射板の頂点に対してほぼ 45° の向きにされている、請求項7に記載の装置。
9. 前記静止反射手段が2つの偏光子を備え、その各々が偏光軸を有し、前記偏光子が互いほぼ 90° 傾斜させられている、請求項5に記載の装置。

10. 前記2つの偏光子が、偏光屋根形反射体を形成し、頂点に沿って接触しており、

前記偏光子の偏光軸が、ほぼ同じ偏光方向を有する放射を透過するような方向に向けられ、偏光方向が前記頂点とほぼ平行、又は、ほぼ直角である、請求項9に記載の装置。

11. 前記静止反射手段が、複数の偏光屋根形反射体を備え、その各々が2つの偏光子を備え、各々の偏光子が偏光軸を有し、前記偏光子が、互いにほぼ 90° 傾斜され且つ頂点に沿って接触し、

各々の屋根形反射体を形成する前記偏光子の偏光軸が、ほぼ同じ偏光方向を有する放射を透過するような方向に向けられ、該偏光方向が、前記頂点とほぼ平行、又は、ほぼ直角である、請求項5に記載の装置。

12. 前記偏光屋根形反射体と回転反射板との間に配置され、放射が通過するたびに放射の偏光方向をほぼ 45° 回転させ、特定の偏光方向を有する放射が前記偏光屋根形反射体を通して出力されるようにするファラデー回転子を更に有している、請求項10に記載の装置。

13. 前記偏光屋根形反射体と回転可能反射板との間に配置され、偏光状態 P_s の放射を受け一又は二以上の複屈折面を有し、これによって、該一又は二以上の複屈折面が、放射が該一又は二以上の複屈折面を通るたびに、偏光状態 P_s の放射に、ほぼ 90° の位相シフトを導入して、特定の偏光方向を有する放射が前記偏光屋根形反射体を通して出力されるようにする、請求項10に記載の装置。

14. 前記一又は二以上の複屈折面がメアンダーライン(meander-lines)である、請求項13項に記載の装置。

15. 放射入力を特定の偏光方向を有する装置に選択的に伝え、且つ、特定の偏光方向を有する装置からの放射を選択的に反射する手段を更に有している、請求項11乃至14のいずれか1項に記載の装置。

16. 前記偏光屋根形反射体から出力された放射の偏光方向をほぼ 45° 回転させる第2のファラデー回転子と、

第2の偏光子を備え、該第2の偏光子が前記一又は二以上の偏光屋根形反射

体の頂点に対してほぼ 45° 傾斜した偏光軸を有している、請求項 15 に記載の装置。

17. 特定の偏光方向を有する放射を選択的に伝え且つ合焦するレンズ系を備えている、請求項 5 または 12 に記載の装置。
18. 前記レンズ系が、反射レンズ (reflector lens) を備え、
該反射レンズが、偏光軸を有し特定の偏光方向を有する放射を選択的に透過させ且つ選択的に反射する第 1 の偏光面と、放射の偏光方向をほぼ 45° 回転させる第 2 の面と、放射を選択的に反射し且つ選択的に透過させる第 3 の偏光面とを備え、前記第 3 の偏光軸が前記第 1 の偏光軸に対してほぼ 45° の角度をなしている、請求項 17 に記載の装置。
19. 前記静止反射手段が前記レンズ系の一部を形成し、前記装置が円錐走査装置をなすように構成されている、請求項 17 又は 18 に記載の装置。
20. 前記第 1 の偏光面が、ほぼ平坦な表面を有し、前記第 3 の偏光面が曲率半径 R のほぼ球面を有し、
前記第 3 の偏光面の球面の半分の曲率半径を有する球面の一部を形成し且つこれと接触する検出器アレイを備えている、請求項 19 に記載の装置。
21. 前記回転ディスクと第 3 の偏光面との間に配置され、前記検出器アレイで形成された画像から球面収差を排除する補正板を更に備えている、請求項 20 に記載の装置。
22. 反射レンズであって、
偏光軸を有し、特定の偏光方向を有する放射を選択的に反射し且つ選択的に透過する第 1 偏光面と、
放射の偏光方向をほぼ 45° 回転させる第 2 の面と、
放射を選択的に反射し且つ選択的に透過する第 3 の偏光面とを備え、
前記第 3 の偏光軸が、前記第 1 の偏光軸に対してほぼ 45° の角度をなしている、反射レンズ。
23. 前記第 1、第 2 及び第 3 の面の少なくとも一つが、湾曲面である、請求項 22 に記載の反射レンズ。